

特定保守管理医療機器 「ルーティー560」の付属品
ペリオチップ

【警告】

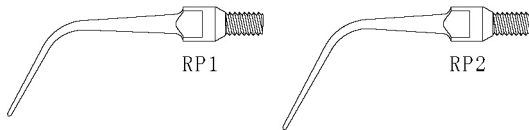
* 1. 患者ごとに、指定する方法および条件で、洗浄等の処理を行った上で滅菌すること。[感染予防のため]

【形状・構造及び原理等】

体に接触する部分の組成

・ステンレス鋼
ペリオチップ

形状



【使用目的又は効果】

使用目的

本製品は歯科医師が歯科治療において、患者の歯面などに付着した歯石および歯垢の除去、根管の拡大形成、歯の切削、歯周組織などの洗浄などを行うために使用する。本付属品は歯科医師が歯科治療において、患者の歯面などに付着した歯石および歯垢の除去、歯周組織などの洗浄を行うために使用する。

【使用方法等】

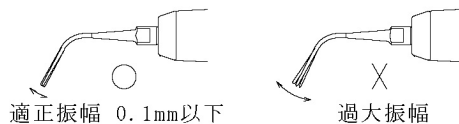
適応機種

・ルーティー560 (認証番号: 20700BZZ00045000)

使用方法

1. 歯石・歯垢除去時

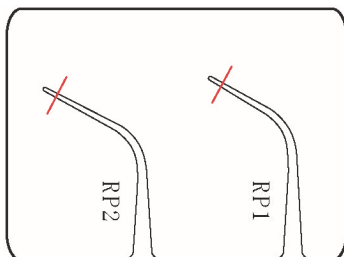
- 適応機種付属の専用レンチを使用して、スケーリングチップと同様にペリオチップを取り付ける。
- 適応機種を歯科用ユニットのホースに接続し、作動させる。
- 適応機種のパワーコントロールリングを調整し、ペリオチップ先端部の振れを図のように調整する。パワーは『1』または『2』の状態を使用する。



- フットスイッチを操作して水を供給し、ペリオチップを振動させると同時に注水する。
- ペリオチップを歯石・歯垢に当て、歯石・歯垢を除去する。
- 先端が消耗して約2mmほど短くなった場合、新しいものに交換する。

2. ペリオチップの交換

- 適応機種付属の専用レンチを使用して、スケーリングチップと同様にペリオチップを取り外す。
- 適応機種付属の「ルーティー・エミー用チップ消耗ガイド」または、下図を用いて、ペリオチップの消耗具合を確認する。下図の場合、ペリオチップを図の型に合わせ、先端が赤い線の手前にある場合、交換時期となる。



- ペリオチップが交換時期であると判断できた場合、適応機種付属の専用レンチを使用して、スケーリングチップと同様に新しいペリオチップを取り付ける。取り外したペリオチップの廃棄については適応機種付属の取扱説明書に従う。

使用方法等に関連する使用上の注意

- 適応機種以外の製品に取り付けて使用しないこと。

- ペリオチップの装着は、適応機種付属の専用レンチによって確実に本体に取り付けること。
- パワーコントロールリングにより必ずペリオチップ先端部の振れを調整した後に使用すること。
- パワーコントロールリングは1(弱)から2へ少しずつ切り換えること。
- ペリオチップの脱落・破損による誤嚥などを防止するために、ラバーダム防湿法や治療中は患者に鼻呼吸をさせるといった対策を行うこと。
- スケーリングを行う際には必ず十分な水を併用し、スケーリング部位とペリオチップを冷却すること。
- ペリオチップは下記の場合破損し易い状態になり、怪我などをまねく恐れがあるので速やかに新しいペリオチップと交換すること。
 - 刃先部がスケーリングによって消耗したペリオチップ
 - 腐食したり、錆が発生したペリオチップ
 - 落下などの衝撃を受けて変形したペリオチップ
 - 刃先部をシャープニング、改造、変形させたペリオチップ
- 使用するペリオチップの種類や磨耗の状態など使用環境によっては大きな作動音の発生や、ペリオチップの振幅が通常より大きくなる場合がある。
- 同じ箇所長時間ペリオチップを当てないこと。
- ペリオチップを必要以上に挿入し、ポケット底を傷つけないためにポケットの長さを治療前に把握すること。
- イリゲーション効果を發揮させるため、根面を損傷しないために十分に注水を行うこと。
- ポケット内で振動を開始するときは、ペリオチップをポケットに挿入し、ポケットの長さを確認してから行うこと。
- ペリオチップを根面に当てる角度はなるべく歯軸に平行になるようにすること。
- 歯面に押しつけずに、軟組織方向に付けるように使用すること。

【使用上の注意】

その他の注意

- 使用前にアルコール清拭およびオートクレーブ滅菌を行うこと。
- ペリオチップはあまり強く締めすぎないように注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

- ペリオチップは十分に乾燥させて保管すること。

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

- 患者ごとに、指定する方法および条件で、洗浄等の処理を行った上で滅菌すること。
- ペリオチップは必ず使用後取り外し、スリーウェインリッジなどのエアリーによって乾燥させること。
- 最高滅菌温度は摂氏135度のため、オートクレーブ滅菌器の設定は摂氏121度で20分、または摂氏132度で15分にする。
- 薬品が付着した器具とは一緒に滅菌器にかけないこと。
- 消毒液の中にペリオチップをそのままつけないこと。
- 消毒の際には、アルカリ性の消毒剤および酸化電位水(強酸性水、超酸性水)を使用しないこと。
- 乾熱滅菌など、指定の最高滅菌温度を超える滅菌は高温のため、避けること。
- 滅菌器の状態や滅菌方法によっては、ペリオチップが変色する場合がある。
- 滅菌終了後、ペリオチップを十分乾燥させること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

** * 発売元
株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9
TEL 0800-170-5541 (ヨシダコンタクトセンター)
03-6880-2155 (携帯電話からの場合)

製造販売元

株式会社ミクロン
〒146-0082 東京都大田区池上2-17-7
TEL 03-3755-0396 (代) FAX 03-5747-5396

製造元

株式会社ミクロン